

秋田県南支部

昨年七月十一日、横手市の「松興会館」にて秋田県南支部総会・懇親会をご来賓含め二十七名の出席のもと開催した。

今回は大西晴樹院長・学長が懇親会に出席されるといふことで、役員・事務局が気合を入れて準備を行った結果、近年にない参加者を募ることができた。

総会では、二〇二四年度の事業報告や決算、そして二〇二五年度の事業計画案、収支予算案が承認された。事業報告では、少数精鋭で開催した「五橋キャンパスツアー」の詳細な報告

が事務局からなされ、また機会があれば中身の工夫をしながら多くの会員に参加いただきたいということを呼びかけた。

引き続き開催された懇親会では、深澤禎彦支部長から記念品として、小川博和副支部長が経営する「稲庭うどん小川」の商品が大西院長に贈呈された。高橋龍請副支部長の乾杯に続いて行われた恒例の「二人一言」コーナーでは、会員一人ひとりの学院への想いがあるりにも強く、「時間の関係上、簡潔に」との司会者のお願いがむなしく響くほどの大盛り上がりで楽しいひとときとなった。最後に全員で校歌



を声高らかに斉唱、来年度の再会を誓い合いながら山形健二幹事の中締めで閉会した。〈事務局 長 青山豊〉

宮城トヨタグループTGC会

昨年十一月九日、二年に一回開催している定例の総会および親睦会を、秋保温泉「ホテルニュー水戸」にて開催した。

宮城トヨタグループTGC会は、宮城トヨタ自動車株式会社百六名、株式会社トヨタレンタリース宮城四名、トヨタL&F宮城株式会社五名の総勢百十五名の会員からなっており、今回は六十六名の参加となった。

総会は東北学院同窓会の顧問でもあり、当同窓会の顧問でもある後藤久幸会長よりあいさつをいただき、近年の同窓会の活動状況などの近況報告をいただいた。その後、全ての総会議案に承認をいただき、新規会員八名の紹介および記念品の贈呈を行った。総会後の親睦会では、当同窓会会長の後藤誠社長より「当会の活発な活動を期待する」とのあいさつをいただき、その後乾杯のご発声をお願いした。



新潟支部

昨年十一月十五日、アトホテル新潟駅前（新潟市）にて、東北学院同窓会新潟支部総会が開催された。

今回は、東北学院同窓会森山博会長、東北学院大学中沢正利副学長、校友課係長を来賓としてお迎えし、学院の「今」を直接知ることができ、貴重な時間となった。

森山会長からは、大塚学長チームの全日本大学駅伝での奮闘や、高校サッカー部が選手権大会準決勝で敗れた悔しさなどが語られたうえで、「東北学院時報を通じて、現在の学院の姿に触れ、学生たちを応援してほしい。そこからさらに愛校心を育んでほしい」と、力強いあいさつがあった。

中沢副学長からは、十八歳人口の減少に対応する学部新設、他



地域課題への取り組み、さらにはスタートアップ支援に至るまで、「変わり続ける学院」の姿が紹介された。こうした母校の取り組みを、日々学生に向き合う立場の方々から直接聞けるのも、この同窓会ならではの魅力である。

今回の出席者は十四名。前年より一名減ったものの、二十代、三十代、五十代の新しい参加者が四名加わり、世代の広がりを感ずる会となった。

新潟支部には名簿上六百名以上の会員がいるが、実際の参加はごく一部にとどまっているのが現状である。諸橋敏松幹事長からは、「何のために集まるのか、どうすれば

もつと参加しやすくなるのかを、これからも考えていきたい」と呼びかけがあった。

キャンパスの風景、学生時代の何気ない出来ごと、名物の先生の話、そんな共通の記憶が、同窓会を通じてふと思い出され、当時の自分に立ち返ることができる。そして、初心に帰り、今を前向きに過ごすための力につながる。これもまた、同窓会に参加する理由の一つなのかもしれない。

この東北学院時報を手にとっている新潟の皆さんへ。まずは一度、気軽に足を運んでみませんか。次回のご参加を心よりお待ちしております。〈幹事長 佐藤泰貴〉

東北学院高等学校 昭和四十二年卒業同期会

昨年十月十七日午後五時から「ホテルモントレ仙台」で、卒業五十八周年の同期会を開催した。最初に事務局より提案があり、会費の中から一月浦奨学基金に寄付すること、次回は二年後に開催することが満場一致で承認された。

懇親会に先立ち物故者へ哀悼の黙禱を捧げ、その後和田知久東北学院中学校・高等学校副校長よりごあいさつと学校の近況についてお話を

いただき、続いて恩師の先生方からのスピーチがあり、橋本秀一実行委員長のおいさつ、大宮一晴氏の乾杯の発声により開宴となった。

遠くは広島市からご夫婦で出席の原田仁司氏（旧姓遠藤）、金魚の生産地で有名な愛知県西部の弥富市から出席の水野純氏（旧姓高橋）や、関東地区からの出席者も含め総勢五十四名であった。



会中、いつものことながら流暢なしゃべりでおもしろおかしく楽しく進化した。この年齢になると風貌が恩師なのか同期生なのか区別がつかないというのは冗談半分で、宴が進むにつれて当時の思い出話に花を咲かせた。時の経つのを忘れるほど夢中になり、和気あいあいとは続いた。

最後に大場恒夫氏のエールにより校歌を斉唱し、二年後元気に再会することを誓い、嶋田正志氏の中締めでお開きとなった。〈実行委員長 橋本秀一〉

昨年十一月十四日、レストラン「MEINA」（仙台市）にて創立二十六周年を祝う竹中工務店グループTGC会総会が開催され、会員・来賓合わせて二十八名が出席した。

五橋キャンパス竣工以来、三年ぶりの開催となった今年度は、これまで「竹中TGC会」として活動してきた名称を、グループ会社を含めた「竹中工務店グループTGC会」へと改め、併せて役員交代も行われた。新会長に就任した菊地由尚氏からは、

大土健至前会長から受け継いだバトンをしっかりと携え、今後さらに活気あるTGC会へ発展させていきたい想いが述べられた。

懇親会には、来賓として櫻井一弥理事長特別補佐、高木龍一郎名誉教授、校友課係長をお迎えし、櫻井理事長特別補佐からは母校の近況報告とご祝辞をいただいた。

また歓談の時間には、新入会員の自己紹介や母校にちなんだクイズが行われ、会場は大いに盛り上がり会員同士の親睦を深めた。

最後は、恒例となっている小野寺紳悟元応援団長の発声で校歌を斉唱し、梶原英毅新副会長の中締めで今回の再会を期し、散会した。〈事務局 阿部史佳〉

秋の褒章・叙勲受章者

この度秋の褒章・叙勲受章者が発表され、長年の各分野における功績・功労に報いる栄誉に本学の同窓生が輝いた。【2025年11月追加】

◆旭日双光章
橋 威氏
(昭32中学、昭35高校、昭40文経経卒)

TG十五日会のご案内

◆4月15日(水) 正午
講演：未定
演題：未定
※決まり次第、同窓会ホームページに掲載します

◆5月【休会】

◆6月12日(金) 正午
講演：未定
演題：未定

◆会場／仙台国際ホテル
仙台市青葉区中央4丁目6-1

◆会費／2,500円(食事代)

※出席を希望される方は、校友課(022-264-6468)へご連絡ください。

※申込締切日：開催日の1週間前まで。

※お申し込みをされていない方の当日のご参加はご遠慮ください。

支部・TG会のご案内

◆工学部機械TG会総会
日時／5月23日(土) 15時30分～
場所／五橋キャンパス及びMEINA

◆武蔵野支部総会
日時／6月6日(土) 17時～
場所／所沢パークホテル

◆白石支部総会
日時／6月6日(土) 18時～
場所／未定
※決まり次第、同窓会ホームページに掲載します

◆職業会計人TG会総会
日時／7月4日(土) 16時～
場所／ホテルベルエア仙台

お問合せ 校友課 ☎022-264-6468

訃報

■竹内 新 殿
(昭和41年工電気卒、工学部準硬式野球部初代主将)
2025年8月3日、永眠された。

■木俣 修 殿
(昭和37文経経卒、元群馬支部支部長)
2025年12月19日、永眠された。

■早坂 忠 殿
(昭和51榴高卒、代議員)
2026年1月4日、永眠された。